

【FastMark 機能】
機能マニュアル
1.10 版

目次

1. はじめに	2
1.1 本マニュアルについて	2
1.2 FastMark とは	2
1.3 サービス制限事項	4
1.3.1 個人用サイト (OneDrive) が必要となります。	4
1.3.2 個人用サイト (OneDrive) のプロビジョニングが予め必要となります。	5
1.3.3 FastMark リストから既定の列を削除するとエラーになります。	5
1.3.4 ゲストユーザーの制限	5
1.3.5 FastMark 登録できないメッセージの種類について	5
1.3.6 FastMark が利用可能なデスクトップアプリ版 Outlook の制限	5
1.3.7 Outlook で利用可能な FastMark アドインの端末制限	5
1.3.8 FastMark アドインで登録したメールを FastMark リストの「登録先へ移動」で移動する際の制限	5
1.3.9 個人用サイト (OneDrive) のタイムゾーンを日本時間に設定する事を推奨します。	6
2. 導入手順	7
2.1 FastMark に対するアクセス許可	7
2.2 FastMark に対するアクセス許可 (Teams アプリ)	10
2.3 FastMark に対するアクセス許可 (リマインド通知)	12
2.4 FastMark アプリをアップロード (Teams アプリ)	14
2.5 FastMark アプリをアップロード (リマインド通知)	16
2.6 FastMark アプリの利用許可 (Teams アプリ)	18
2.7 FastMark アプリの利用許可 (リマインド通知)	20
2.8 Outlook で利用可能な FastMark アドインを設定する	23
2.9 FastMark アプリの更新	29
3. ご利用方法	31
3.1 FastMark のインストール	31
3.2 個人用サイトが作成される設定になっていることを確認します	32
3.3 メッセージ拡張機能から FastMark を使ってメッセージを記録します	32
3.4 保存したリストの閲覧	33
3.5 FastMark からアイテムを編集・登録する	35
3.6 FastMark からアイテムを削除する	38
3.7 Outlook のメールを FastMark 登録する	39
3.8 リマインド通知	41
3.8.1 リマインド通知とは	41
3.8.2 リマインド通知を受け取る設定	42
4. アプリの削除	46
4.1 FastMark アプリの削除	46
4.2 Outlook で FastMark 利用可能なアドインの削除	48
5. Appendix	50
5.1 お問い合わせ	50
5.2 変更履歴	50

1. はじめに

1.1 本マニュアルについて

本マニュアルは Teams 管理センターの管理が出来る IT 管理者/運用者を対象とした FastMark アプリのサービス導入マニュアルです。

1.2 FastMark とは

FastMark は、個人ごとにお気に入り登録した Teams のチャット等を一覧で表示できる機能です。

1. 対象のチャットを選択します。

対象のチャットを選択し、「FastMark」を選択します。(個人チャット、チーム上のチャットが選択可能です)



2. 登録する際の詳細を入力します。

タイトル、カテゴリーを入力してアイテムを登録します。(すべて未入力でもアイテム登録可能です)

タイトルが未入力の場合、タイトル名は自動で付与されます。

FastMark

タイトル

未入力の場合は記事のタイトルが保存されます。記事のタイトルがない場合は「[投稿ユーザー名]からのチャット」と保存されます。

カテゴリ

オプションを選択

ステータス

オプションを選択

期限

日付を選択...

備考

送信

3. 登録内容の確認

FastMark に登録した内容を確認します。



The screenshot displays the FastMark application interface. At the top, there is a search bar and a navigation menu on the left. The main content area shows a list of registered items with columns for Title, Category, Status, Period, Registration Date, Registrant, Comment, and Link. Two items are listed: 'FastMark が使えるようになりました！' and '次回の打ち合わせについて'. Both items have a status of 'タスク' (Task) and '保留' (Pending). The interface also includes filters for Category and Status, and a button to 'FastMarkに登録' (Register to FastMark).

タイトル	カテゴリー	ステータス	期限	投稿日	投稿者	コメント	備考	リンク
FastMark が使えるようになりました！	タスク	保留	2024/04/26	2024/04/22	システム管理者			登録先へ移動
次回の打ち合わせについて	タスク	保留	2024/04/12	2024/04/22	システム管理者			登録先へ移動

1.3 サービス制限事項

1.3.1 個人用サイト（OneDrive）が必要となります。

ご利用されるアカウントが個人用サイトの作成が可能かどうかは以下の手順にて確認が可能です。予めご確認ください。

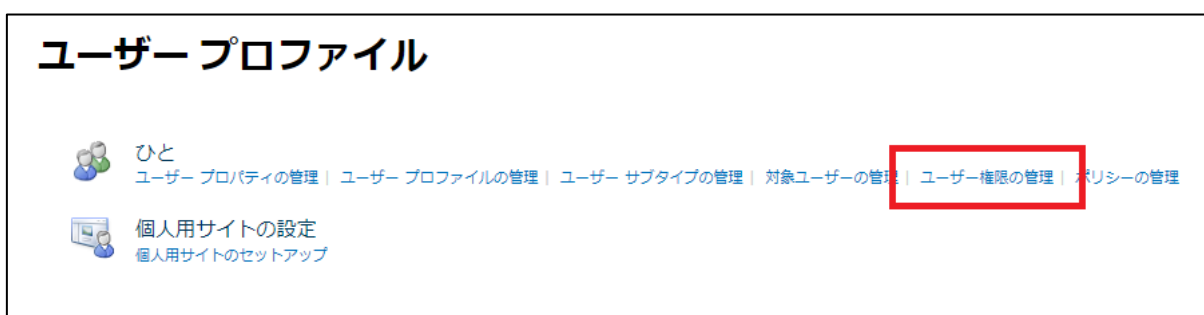
1. SharePoint の管理者権限を持ったアカウントで以下のユーザープロフィールページにアクセスします。

https://**{お客様テナント}**-admin.sharepoint.com/_layouts/15/TenantProfileAdmin/ManageUserProfileServiceApplication.aspx

※**{お客様テナント}**の部分は環境に合わせて置き換えます。

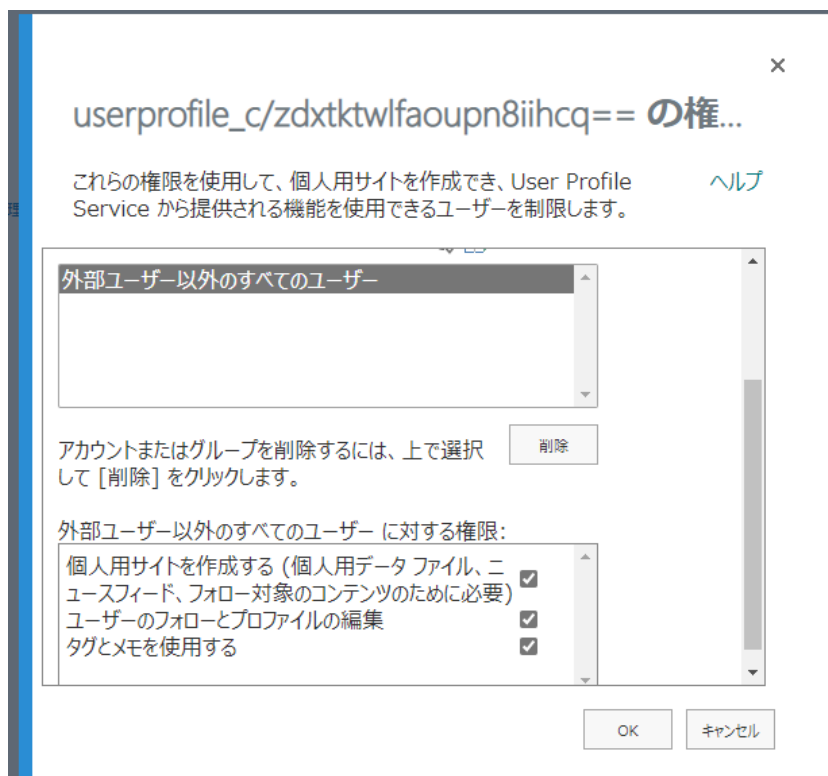
例) https://**sbttopmdemo**.sharepoint.com というテナントを取得していた場合、https://**sbttopmdemo**-admin.sharepoint.com/_layouts/15/TenantProfileAdmin/ManageUserProfileServiceApplication.aspx

2. ユーザー権限の管理をクリックします。



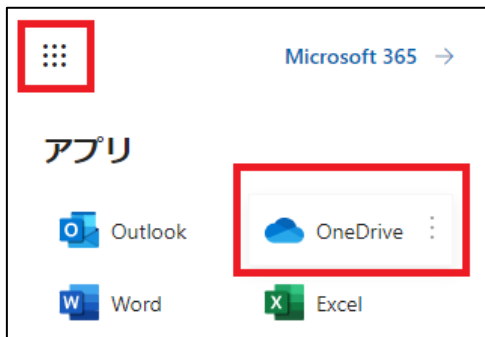
3. 個人用サイトを作成可能な権限がどのように振られているかを確認します。

画像例は標準設定です。この設定の場合は外部ユーザーを除く全てのアカウントで本機能を利用することができます。



1.3.2 個人用サイト（OneDrive）のプロビジョニングが予め必要となります。

FastMark として保存する内容を個人用サイトに保存するため、個人用サイトのプロビジョニングを予め行っていただく必要があります。一度も OneDrive を利用した事がないアカウントであれば M365 にサインした際に画面左上の「アプリ起動ツール」をクリックし、その中から OneDrive のアイコンをクリックする必要があります。



1.3.3 FastMark リストから既定の列を削除するとエラーになります。

FastMark リスト作成時に予め作成されている列（タイトル、カテゴリー、ステータス、期限、投稿日、投稿者、備考、コメント、リンク）に対して Sharepoint 上から変更を加える、削除すると言った操作を行うと、FastMark アプリから FastMark の一覧を表示した際にエラー表示になります。ご注意ください。新しく列を追加する、ビューを変更する等については問題ありません。

1.3.4 ゲストユーザーの制限

ゲストユーザーは Teams にカスタムアプリをインストールすることができないため、FastMark を利用することはできません。

1.3.5 FastMark 登録できないメッセージの種類について

- 承認要求、Forms が含まれるメッセージを FastMark に登録しようとした場合、エラーとなります。
- Stream、Viva ラーニング、コードスニペットを含むメッセージを FastMark に登録しようとしても、登録されません。
- プライベートチャンネルに投稿されたメッセージは FastMark に登録できません。

1.3.6 FastMark が利用可能なデスクトップアプリ版 Outlook の制限

デスクトップアプリ版の Outlook で FastMark 登録する場合、クライアントのバージョンは、「Outlook 2021」以降である必要がございます。

1.3.7 Outlook で利用可能な FastMark アドインの端末制限

Outlook で利用できる FastMark アドインは、モバイル端末で利用することはできません。

1.3.8 FastMark アドインで登録したメールを FastMark リストの「登録先へ移動」で移動する際の制限

FastMark アドインを利用して FastMark 登録したメールアイテムをフォルダ移動した場合には、登録済みの FastMark リストの「登録先へ移動」では該当のメールには移動することはできません。再度ご登録いただきますようお願いいたします。

1.3.9 個人用サイト（OneDrive）のタイムゾーンを日本時間に設定する事を推奨します。

個人用サイト（OneDrive）のタイムゾーンが日本時間と異なる場合、期限切れ通知の対象に影響が発生する可能性があるため、日本時間の設定を推奨します。

タイムゾーンの確認は以下の手順で確認可能です。

1. 個人用サイト（OneDrive）にアクセスし、画面右上の歯車マークをクリックし、「OneDrive の設定」をクリックします。

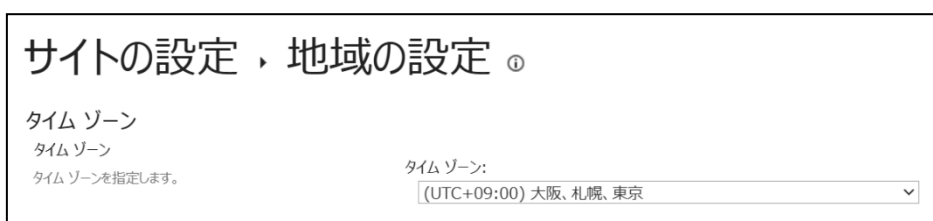


2. その他の設定から、「地域の設定」を選択します。



3. タイムゾーンが日本時間であることを確認します。

日本時間以外の場合は日本時間に変更し、保存いただく事を推奨します。



2. 導入手順

2.1 FastMark に対するアクセス許可

この手順は、FastMark でお客様環境へのアクセスが必要となるため、弊社が提供している Azure Active Directory のアプリケーションに対してアクセス許可を承認いただく作業です。本作業を実施することで、FastMark が有効となります。

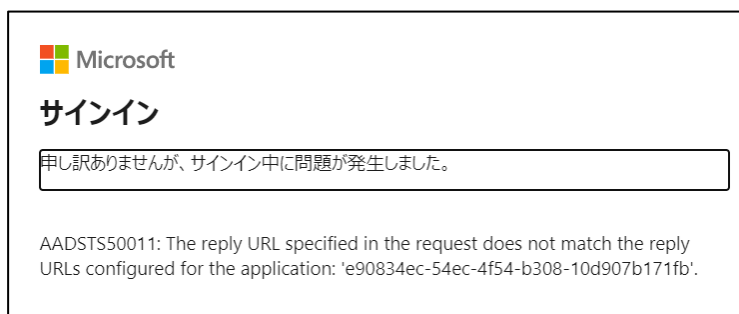
1. 下記の URL にアクセスします。

https://login.microsoftonline.com/common/oauth2/authorize?response_type=code&client_id=8d551406-e06a-4b58-8e4c-7f1371e6174d&redirect_uri=http://localhost&response_mode=form_post&nonce=1&resource=https://graph.microsoft.com&prompt=admin_consent

2. 利用対象テナントの**テナント管理者**アカウントでサインインします。
3. 「承諾」をクリックします。承諾後、エラー画面に遷移しますが問題ありません。次の手順番号 4.に進んでください。



※エラー画面例



4. 「承諾」をクリックします。承諾後、エラー画面に遷移しますが問題ありません。次の手順番号に進んでください。

5. エラー画面に遷移したら利用対象テナントの**テナント管理者アカウント**で以下の URL にアクセスします。

https://aad.portal.azure.com/#blade/Microsoft_AAD_IAM/StartboardApplicationsMenuBlade/AppAppsPreview/menuId/

6. 「FastMarkCertification」と入力し、1 個のアプリケーションが見つかる事を確認します。



The screenshot shows the Microsoft Entra ID portal interface. The left sidebar contains navigation links: 概要 (Overview), 問題の診断と解決 (Troubleshooting and Resolution), 管理 (Management), すべてのアプリケーション (All Applications), アプリケーション プロキシ (Application Proxy), ユーザー設定 (User Settings), アプリ起動ツール (App Launch Tools), and カスタム認証拡張機能 (プレビュー) (Custom Authentication Extensions (Preview)). The main content area is titled 'エンタープライズ アプリケーション | すべてのアプリケーション' (Enterprise Applications | All Applications). It includes a search bar with 'FastMarkCertification' entered and a table of applications. The table has columns: 名前 (Name), オブジェクト ID (Object ID), アプリケーション ID (Application ID), ホームページ URL (Home Page URL), 作成日 (Created), 証明書有効期限 (Certificate Validity), アクティブな証明 (Active Certificate), and 識別子 (Identifier). One application, 'FastMarkCertification', is listed with the following details: Object ID: 846282bd-9baf-4..., Application ID: 8d551406-e06a-4..., Created: 2023/10/6, Certificate Validity: -, Active Certificate: -, and Identifier: api://.

名前	オブジェクト ID	アプリケーション ID	ホームページ URL	作成日	証明書有効期限	アクティブな証明	識別子
FastMarkCertification	846282bd-9baf-4...	8d551406-e06a-4...		2023/10/6	-	-	api://

7. アプリケーションが見つからなかった場合は登録に失敗しているため、「5.1 お問い合わせ」を参考にサポート窓口にお問い合わせください。

8. アプリケーションが見つかったら名前をクリックし、画面左側にあるアクセス許可をクリックします。下図のアクセス許可が付与されていれば、アプリのアクセス許可は正常に反映されています。

【FastMarkCertification】

API 名	クレームの値
Microsoft Graph	User.Read.All
Microsoft Graph	Mail.Send
Office 365 SharePoint Online	Sites.Manage.All
Office 365 SharePoint Online	User.ReadWrite.All

ホーム > エンタープライズ アプリケーション | すべてのアプリケーション > FastMarkCertification

FastMarkCertification | アクセス許可 ...

更新 ✓ アクセス許可の編集 フィードバックがある場合

アクセス許可

組織向けに付与されたアクセス許可のリストを以下に示します。管理者は、すべてのユーザーの代理としてこのアプリに対するアクセス許可を付与できます (委任されたアクセス許可)。このアプリに対するアクセス許可を付与することもできます (アプリのアクセス許可)。詳細情報。

アクセス許可のレビュー、取り消し、復元を行うことができます。詳細情報。

SBテクノロジー株式会社 に管理者の同意を与えます

管理者の同意 ユーザーの同意

▽ アクセス許可の検索

API 名	↑↓ クレームの値	↑↓ 権限	↑↓ 種類	↑↓ 付与方法	↑↓ 許可元	↑↓
Microsoft Graph						
Microsoft Graph	User.Read	Sign in and read us...	Delegated	管理者の同意	1 名の管理者	***
Microsoft Graph	User.Read.All	Read all users' full ...	Application	管理者の同意	1 名の管理者	***
Microsoft Graph	Mail.Send	Send mail as any u...	Application	管理者の同意	1 名の管理者	***
Office 365 SharePoint Online						
Office 365 SharePoint Online	User.ReadWrite.All	Read and write use...	Application	管理者の同意	1 名の管理者	***
Office 365 SharePoint Online	Sites.Manage.All	Read and write ite...	Application	管理者の同意	1 名の管理者	***

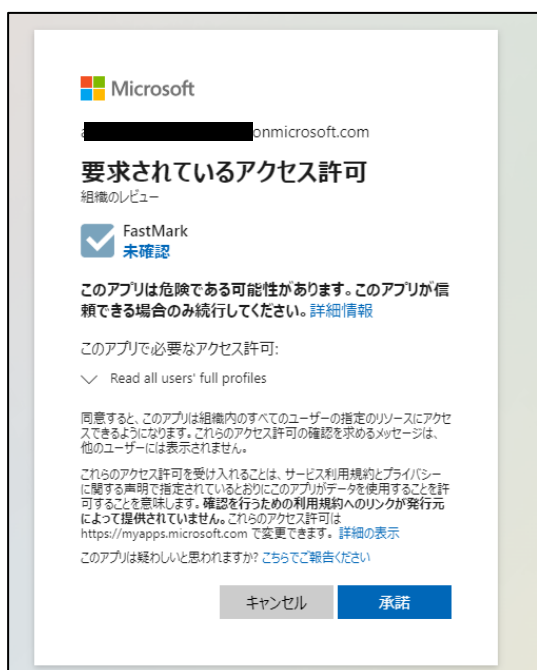
2.2 FastMark に対するアクセス許可 (Teams アプリ)

この手順は、FastMark でお客様環境へのアクセスが必要となるため、弊社が提供している Azure Active Directory のアプリケーションに対してアクセス許可を承認いただく作業です。本作業を実施することで、FastMark が有効となります。

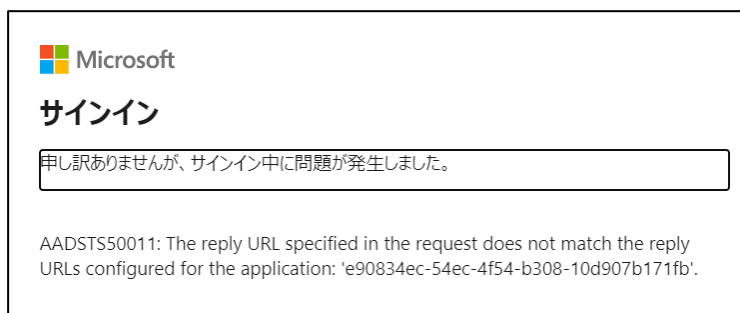
1. 下記の URL にアクセスします。

https://login.microsoftonline.com/common/oauth2/authorize?response_type=code&client_id=b815f7b5-548b-4a10-b2b0-2de53bc84b8b&redirect_uri=http://localhost&response_mode=form_post&nonce=1&resource=https://graph.microsoft.com&prompt=admin_consent

2. 利用対象テナントの**テナント管理者**アカウントでサインインします。
3. 「承諾」をクリックします。承諾後、エラー画面に遷移しますが問題ありません。次の手順番号に進んでください。



※エラー画面例



4. エラー画面に遷移したら利用対象テナントの**テナント管理者**アカウントで以下の URL にアクセスします。

https://aad.portal.azure.com/#blade/Microsoft_AAD_IAM/StartboardApplicationsMenuBlade/AppAppsPreview/menuId/

5. 「FastMark」と入力し、アプリケーションが見つかる事を確認します。



6. アプリケーションが見つからなかった場合は登録に失敗しているため、「5.1 お問い合わせ」を参考にサポート窓口にお問い合わせください。

7. アプリケーションが見つかったら名前をクリックし、画面左側にあるアクセス許可をクリックします。「User.Read.All」に対して管理者の同意が付与されていれば、アプリのアクセス許可は正常に反映されています。



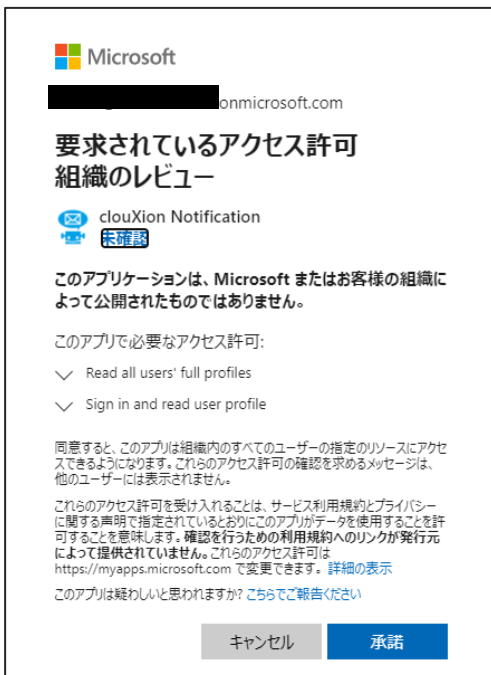
2.3 FastMark に対するアクセス許可（リマインド通知）

この手順では、Teams へのリマインド通知処理を行うために SBT が用意しているアプリに権限を付与します。

1. 下記の URL にアクセスします。

https://login.microsoftonline.com/common/oauth2/authorize?response_type=code&client_id=3c78f528-ccc0-4035-a35b-f41c775e312c&redirect_uri=http://localhost&response_mode=form_post&nonce=1&resource=https://graph.microsoft.com&prompt=admin_consent

2. **利用対象のテナント**の管理者アカウントでサインインします。
3. 「承諾」をクリックします。



Microsoft

onmicrosoft.com

要求されているアクセス許可 組織のレビュー

clouXion Notification

このアプリケーションは、Microsoft またはお客様の組織によって公開されたものではありません。

このアプリに必要なアクセス許可:

- ✓ Read all users' full profiles
- ✓ Sign in and read user profile

同意すると、このアプリは組織内のすべてのユーザーの指定のリソースにアクセスできるようになります。これらのアクセス許可の確認を求めるメッセージは、他のユーザーには表示されません。


これらのアクセス許可を受け入れることは、サービス利用規約とプライバシーに関する声明で指定されているとおりこのアプリがデータを使用することを許可することを意味します。確認を行うための利用規約へのリンクが発行元によって提供されていません。これらのアクセス許可は <https://myapps.microsoft.com> で変更できます。詳細の表示

このアプリは疑わしいと思われますか? [こちらでご報告ください](#)

キャンセル 承諾

※「承諾」後、404 または 405 エラー画面に遷移しますが、問題ありません。そのままブラウザーを閉じてください。

※エラー画面例



Microsoft

サインイン

申し訳ありませんが、サインイン中に問題が発生しました。

AADSTS50011: The reply URL specified in the request does not match the reply URLs configured for the application: 'e90834ec-54ec-4f54-b308-10d907b171fb'.

4. エラー画面に遷移したら利用対象テナントの**テナント管理者アカウント**で以下の URL にアクセスします。

https://aad.portal.azure.com/#blade/Microsoft_AAD_IAM/StartboardApplicationsMenuBlade/AppAppsPreview/menuId/

5. 「clouXion Notification」と入力し、アプリケーションが見つかる事を確認します。

ダッシュボード > エンタープライズ アプリケーション

エンタープライズ アプリケーション | すべてのアプリケーション

概要

管理

すべてのアプリケーション

プライベート ネットワーク コネクション

ユーザー設定

アプリ起動ツール

カスタム認証拡張機能

Microsoft Entra テナントを ID プロバイダーとして使用するよう設定されている、ご自身の組織内のアプリケーションを表示、フィルター処理、検索します。

組織で管理されているアプリケーションのリストは、アプリケーションの登録にあります。

検索: clouXion Notification

アプリケーションの種類 == エンタープライズ アプリケーション

アプリケーション ID 次の値で始まる

フィルターを追加

1 個のアプリケーションが見つかりました

名前	オブジェクト ID	アプリケーション ID	ホームページ URL	作成日	証明書有効期限	アクティブな証明
clouXion Notification	729ab216-c916-4...	3c78f528-ccc0-40...		2021/12/16	-	-

6. アプリケーションが見つからなかった場合は登録に失敗しているため、「5.1 お問い合わせ」を参考にサポート窓口にお問い合わせください。

8. アプリケーションが見つかったら名前をクリックし、画面左側にあるアクセス許可をクリックします。「User.Read」「User.Read.All」「openid」に対して管理者の同意が付与されていれば、アプリのアクセス許可は正常に反映されています。

ダッシュボード > エンタープライズ アプリケーション | すべてのアプリケーション > clouXion Notification

clouXion Notification | アクセス許可

概要

デプロイ計画

問題の診断と解決

管理

プロパティ

所有者

ロールと管理者

ユーザーとグループ

シングル サインオン

プロビジョニング

セルフサービス

カスタム セキュリティ属性

セキュリティ

条件付きアクセス

アクセス許可

組織向けに付与されたアクセス許可のリストを以下に示します。管理者は、すべてのユーザーの代理としてこのアプリに対するアクセス許可を付与できます（委任されたアクセス許可）。直接このアプリに対するアクセス許可を付与することもできます（アプリのアクセス許可）。詳細情報。

アクセス許可のレビュー、取り消し、復元を行うことができます。詳細情報。

SBテクノロジー株式会社 に管理者の同意を与えます

管理者の同意 ユーザーの同意

アクセス許可の検索

API 名	クレームの値	権限	種類	付与方法	許可元	
Microsoft Graph						
Microsoft Graph	User.Read	Sign in and read user profile	Delegated	管理者の同意	1 名の管理者	***
Microsoft Graph	User.Read.All	Read all users' full profiles	Delegated	管理者の同意	1 名の管理者	***
Microsoft Graph	openid	Sign users in	Delegated	管理者の同意	1 名の管理者	***

2.4 FastMark アプリをアップロード（Teams アプリ）

この手順では、FastMark を利用可能にするためのアプリを Teams にアップロードします。

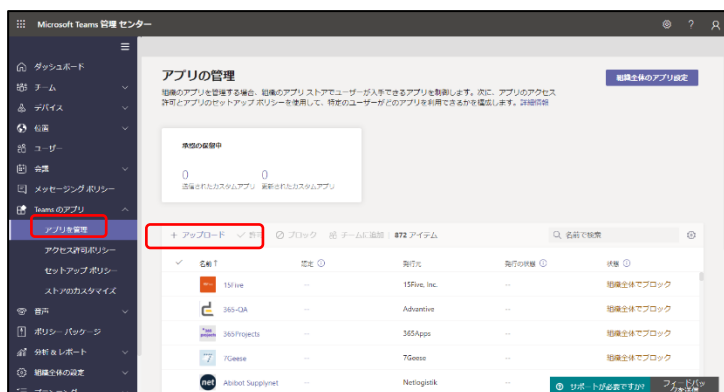
既にアプリ中心の管理への移行が完了している場合は、以下の記事を参考に実施してください。

[Flow - Teams 管理センターのアプリ中心の管理への移行に伴う Teams アプリのアクセス許可ポリシーの設定方法の変更について](#)
[Provisioning Flow - Teams 管理センターのアプリ中心の管理への移行に伴う Teams アプリのアクセス許可ポリシーの設定方法の変更について](#)

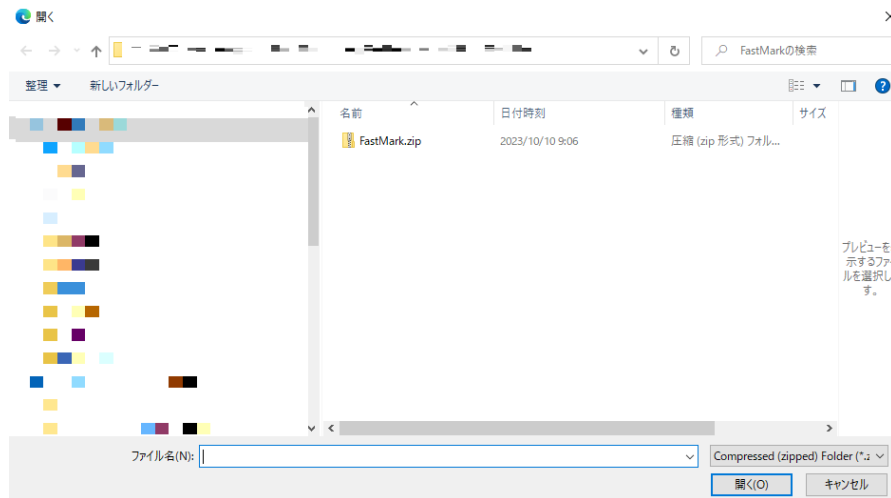
1. Microsoft 365 管理センターにアクセスします。
<https://admin.microsoft.com/adminportal/>
2. サインイン画面が表示されるので、Office365 の管理者アカウントでサインインします。
3. 左メニュー「…すべてを表示」を選択し、表示されたメニュー内の「Teams」を開きます。



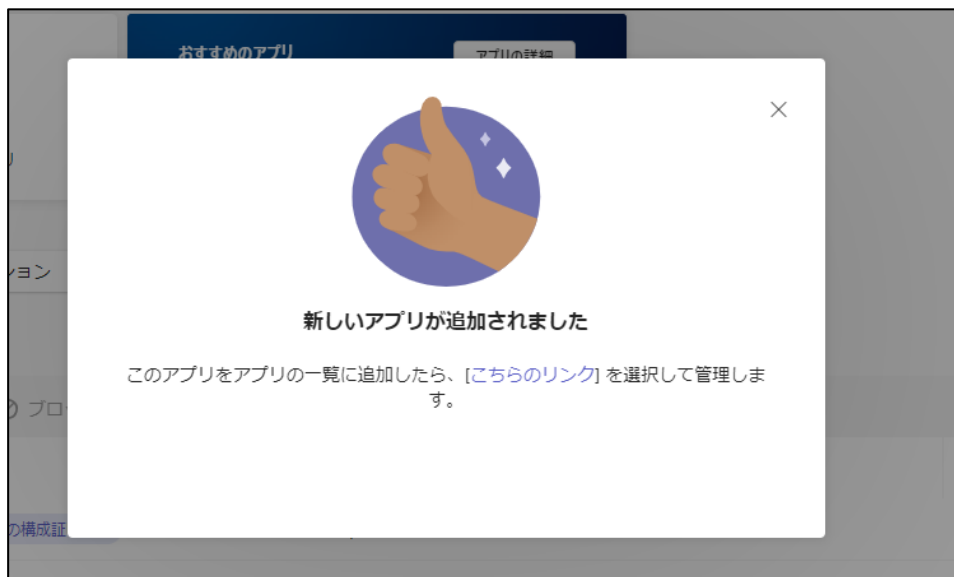
4. 左メニューの「Teams のアプリ」を選択し、「アプリを管理」を選択します。右画面に表示されたリストの上部より、「アップロード」を選択してください。



5. 「カスタムアプリをアップロード」ダイアログが開きます。「ファイルを選択」を選択し、サポート窓口からお送りしている、外部アプリ「FastMark.zip」をアップロードします。



6. 外部アプリ「FastMark」がアップロードされました。



2.5 FastMark アプリをアップロード（リマインド通知）

この手順では、Teams へのリマインド通知処理を行うために SBT が用意しているアプリを Teams にアップロードします。

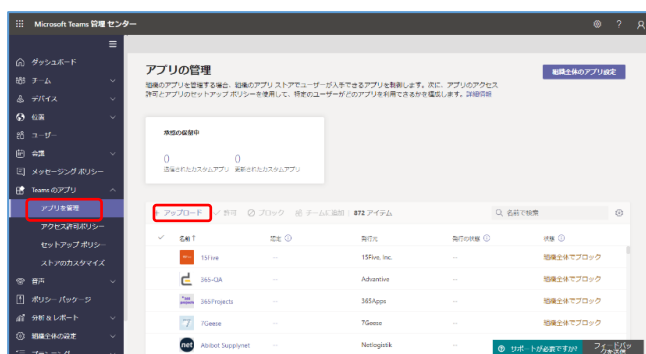
既にアプリ中心の管理への移行が完了している場合は、以下の記事を参考に実施してください。

[Flow - Teams 管理センターのアプリ中心の管理への移行に伴う Teams アプリのアクセス許可ポリシーの設定方法の変更について](#)
[Provisioning Flow - Teams 管理センターのアプリ中心の管理への移行に伴う Teams アプリのアクセス許可ポリシーの設定方法の変更について](#)

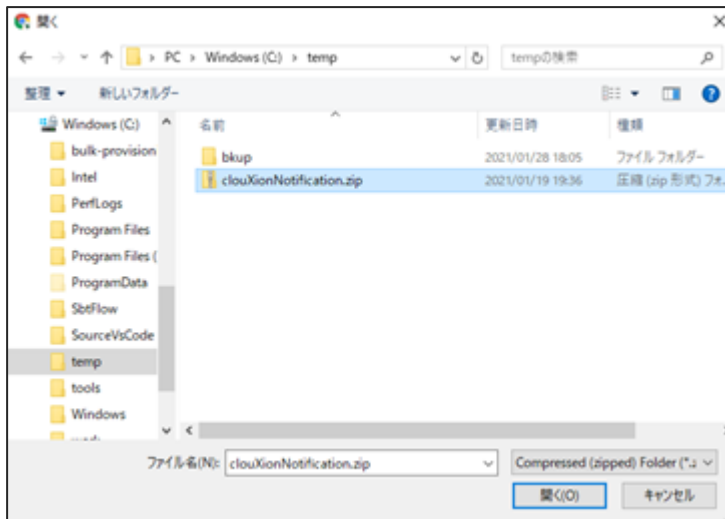
1. Office 365 管理センターにアクセスします。
<https://login.microsoftonline.com/>
2. サインイン画面が表示されるので、Office365 の管理者アカウントでサインインします。
3. 左メニュー「…すべてを表示」を選択し、表示されたメニュー内の「Teams」を開きます。



4. 左メニューの「Teams のアプリ」を選択し、「アプリを管理」を選択します。右画面に表示されたリストの上部より、「アップロード」を選択してください。



5. 「カスタムアプリをアップロード」ダイアログが開きます。「ファイルを選択」を選択し、サポート窓口からお送りしている、外部アプリ「clouXionNotification.zip」をアップロードします。



6. 外部アプリ「clouXion」がアップロードされました。



2.6 FastMark アプリの利用許可 (Teams アプリ)

この手順では、アクセス許可ポリシーにて組織の全ユーザーが FastMark アプリをインストール可能とする設定をします。

全ユーザーではなく一部のユーザーに設定を適応したい場合は、お客様にて Microsoft の仕様に従い、本手順に記載されているアクセス許可ポリシーが一部のユーザーへ適用されるよう実施してください。

既にアプリ中心の管理への移行が完了している場合は、以下の記事を参考に実施してください。

[Flow - Teams 管理センターのアプリ中心の管理への移行に伴う Teams アプリのアクセス許可ポリシーの設定方法の変更について](#)
[Provisioning Flow - Teams 管理センターのアプリ中心の管理への移行に伴う Teams アプリのアクセス許可ポリシーの設定方法の変更について](#)

- 1 Microsoft 365 管理センターにアクセスします。
<https://admin.microsoft.com/adminportal/>
- 2 サインイン画面が表示されるので、Office365 の管理者アカウントでサインインします。
- 3 左メニュー「…すべてを表示」を選択し、表示されたメニュー内の「Teams」を開きます。



- 4 左メニューの「アクセス許可ポリシー」を選択し、「グローバル（組織全体の既定値）」を選択してください。



- 5 「カスタムアプリ」の設定を確認します。

「特定のアプリを許可し、他のすべてのアプリをブロックする」に設定しているお客様のみ 5.1 ～ 5.3 の手順を実施してください。

5.1 「アプリを許可」ボタンをクリックします。



5.2 検索ボックスに「FastMark」と入力し、表示されたアプリの追加ボタンを選択します。



5.3 「保存」を選択して、ポリシーを保存します。

設定が反映されるまでにしばらく時間がかかる事がございます。

1～2 時間反映にかかったケースも確認しておりますのでご承知おきください。

2.7 FastMark アプリの利用許可（リマインド通知）

この手順では、アクセス許可ポリシーにて組織の全ユーザーが Teams へのリマインド通知処理を行うために SBT が用意しているアプリをインストール可能とする設定をします。

全ユーザーではなく一部のユーザーに設定を適応したい場合は、お客様にて Microsoft の仕様に従い、本手順に記載されているアクセス許可ポリシーが一部のユーザーへ適用されるよう実施してください。

既にアプリ中心の管理への移行が完了している場合は、以下の記事を参考に実施してください。

[Flow - Teams 管理センターのアプリ中心の管理への移行に伴う Teams アプリのアクセス許可ポリシーの設定方法の変更について](#)
[Provisioning Flow - Teams 管理センターのアプリ中心の管理への移行に伴う Teams アプリのアクセス許可ポリシーの設定方法の変更について](#)

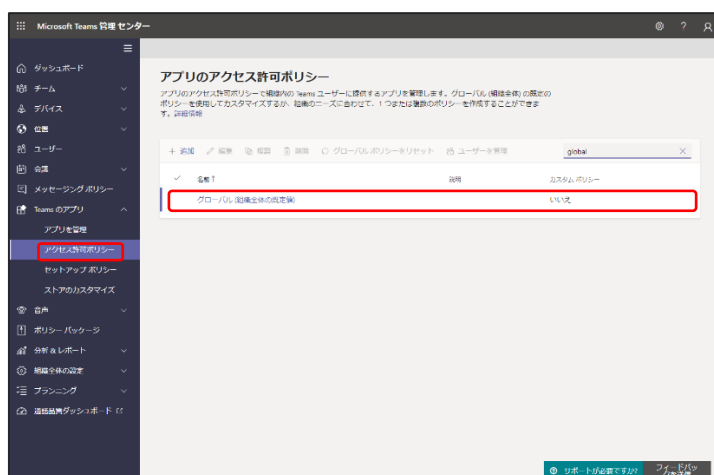
1. Office 365 管理センターにアクセスします。

<https://login.microsoftonline.com/>

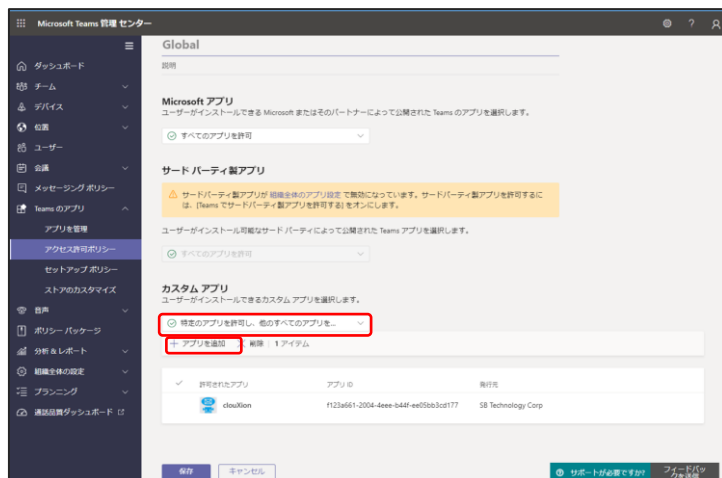
2. サインイン画面が表示されるので、Office365 の管理者アカウントでサインインします。
3. 左メニュー「…すべてを表示」を選択し、表示されたメニュー内の「Teams」を開きます。



4. 左メニューの「アクセス許可ポリシー」を選択し、「グローバル（組織全体の既定値）」を選択してください。



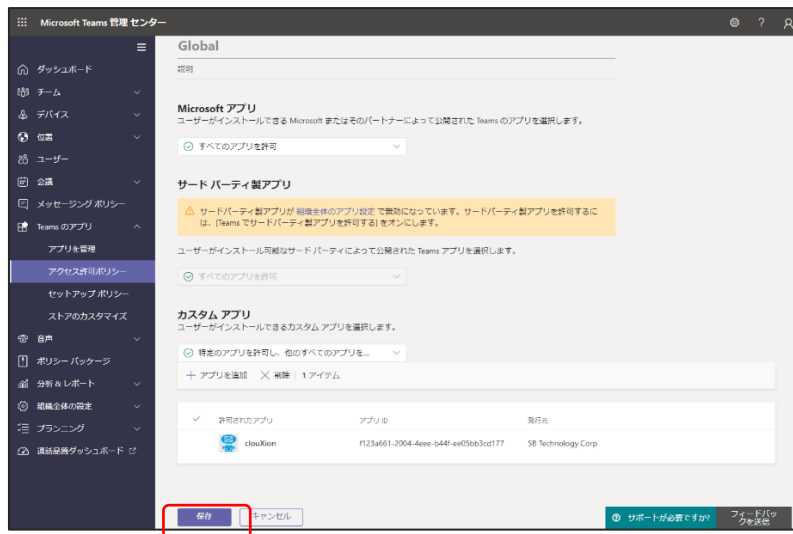
5. 「カスタムアプリ」の項目で「特定のアプリを許可し、他のすべてのアプリをブロックする」を選択してください。次に「アプリを追加」を選択します。



6. 検索ボックスに「clouXion」と入力し、表示されたアプリの追加ボタンを選択します。



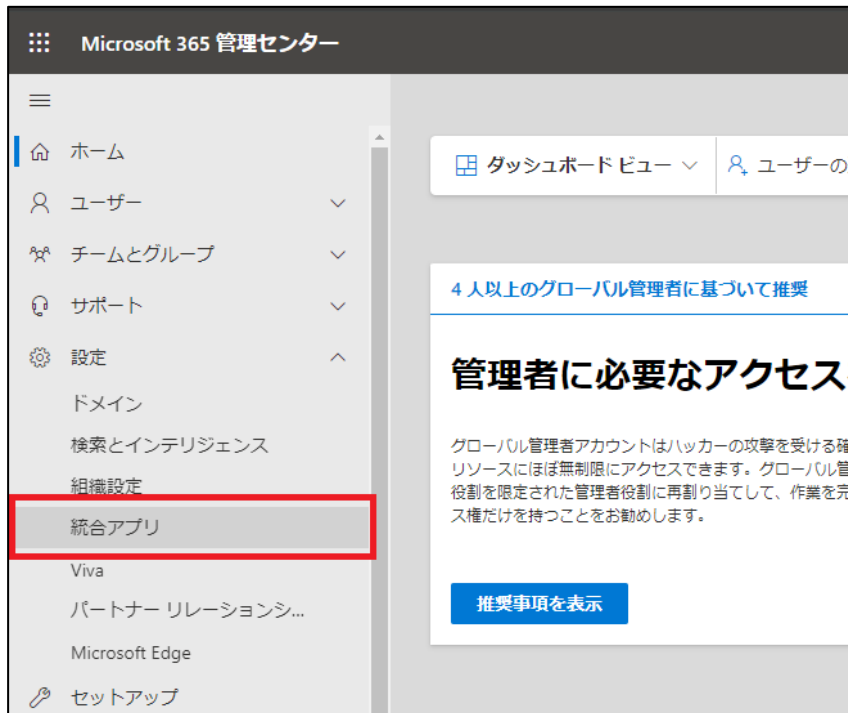
7. 「保存」を選択して、ポリシーを保存します。



2.8 Outlook で利用可能な FastMark アドインを設定する

この手順では、Outlook のメールを FastMark 登録するために必要なアドインを設定する方法です。

- 1 Microsoft 365 管理センターにアクセスします。
<https://admin.microsoft.com/adminportal/>
- 2 サインイン画面が表示されるので、Office365 の管理者アカウントでサインインします。
- 3 設定欄から 統合アプリ を選択します。



4 カスタムアプリをアップロードする をクリックします。



5 アプリの種類を Office アドインに切り替えます。



- 6 アプリのアップロード方法を マニフェスト ファイルへのリンクを提供に切り替え、URL 入力欄に以下の URL を設定後、検証ボタンをクリックします。

■URL

<https://prod-app-fastmark-addin.azurewebsites.net/Sbt.FastMark.OutlookWebAddIn.xml>

Microsoft 365 管理センター

新しいアプリの展開

カスタム アプリをアップロード

ユーザー

展開

アプリをアップロードして展開する

アプリの種類

Office アドイン

アプリのアップロード方法を選択

☐ デバイスからマニフェスト ファイル (.xml) をアップロード

デスクトップからファイルを選択

ファイルを選択

☒ マニフェスト ファイルへのリンクを提供

<https://prod-app-fastmark-addin.azurewebsites.net/Sbt.FastMark.OutlookWebAddIn.xml>

検証

- 7 次へボタンをクリックします。

Microsoft 365 管理センター

新しいアプリの展開

カスタム アプリをアップロード

ユーザー

展開

アプリをアップロードして展開する

アプリの種類

Office アドイン

アプリのアップロード方法を選択

☐ デバイスからマニフェスト ファイル (.xml) をアップロード

デスクトップからファイルを選択

ファイルを選択

☒ マニフェスト ファイルへのリンクを提供

<https://prod-app-fastmark-addin.azurewebsites.net/Sbt.FastMark.OutlookWebAddIn.xml>

検証

マニフェスト ファイルが検証されました

次へ

キャンセル

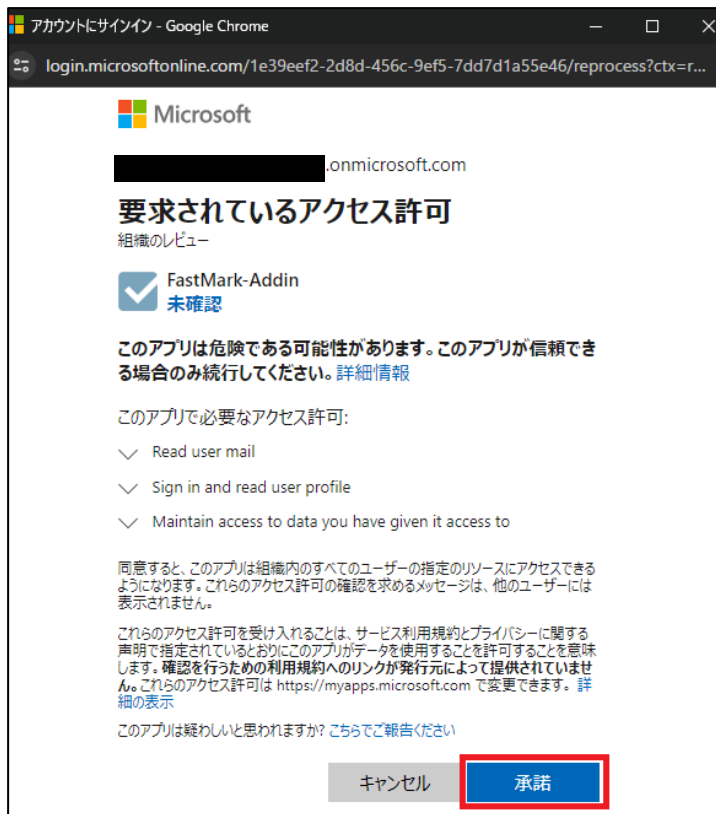
8 Outlook から FastMark 登録を行いたいユーザーを選択した後に次へボタンをクリックします。



9 アクセス許可を承諾するボタンをクリックすると管理者のサインインが要求されるので、指示に従ってサインインします。



10 承諾ボタンをクリックします。



11 次へボタンをクリックします。



12 展開の完了ボタンをクリックします。



13 Done ボタンをクリックすることで Outlook から FastMark 登録するための導入手順は完了になります。

画面の通りではありますが、展開が完了してから Outlook で利用可能になるまでに最大 6 時間かかる場合がございます。
ご承知おきください。



2.9 FastMark アプリの更新

この手順では、Teams にアップロードした FastMark アプリの更新を行います。

既にアプリ中心の管理への移行が完了している場合は、以下の記事を参考に実施してください。

[Flow - Teams 管理センターのアプリ中心の管理への移行に伴う Teams アプリのアクセス許可ポリシーの設定方法の変更について](#)
[Provisioning Flow - Teams 管理センターのアプリ中心の管理への移行に伴う Teams アプリのアクセス許可ポリシーの設定方法の変更について](#)

1. Microsoft 365 管理センターにアクセスします。

<https://admin.microsoft.com/adminportal/>

2. サインイン画面が表示されるので、Office365 の管理者アカウントでサインインします。
3. 左メニュー「…すべてを表示」を選択し、表示されたメニュー内の「Teams」を開きます。



4. 左メニューの「Teams のアプリ」を選択し、「アプリを管理」を選択します。画面右の検索ボックスに「FastMark」と入力し、検索にヒットした FastMark アプリの名前のリンクをクリックします。



5. 「ファイルをアップロード」をクリックし、外部アプリ「FastMark.zip」をアップロードします。



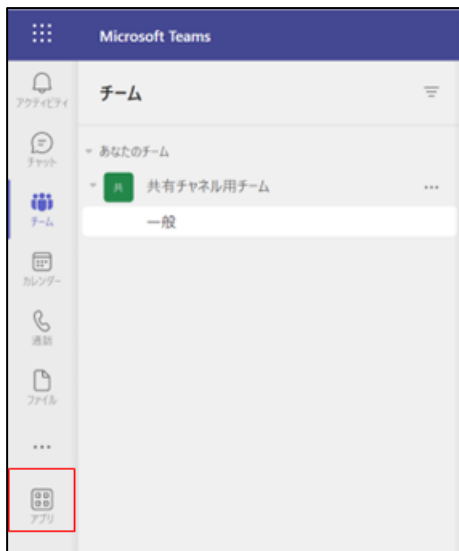
※ファイルをアップロードしてから更新が反映されるまでに 1 時間以上かかる場合があります。

3. ご利用方法

3.1 FastMark のインストール

この手順では、個別のユーザーが FastMark をインストールする手順を記載します。

1. Microsoft Teams の画面左のタブから「アプリ」をクリックします。



2. アプリの検索用テキストボックスに「FastMark」と入力し、検索結果の FastMark アプリをクリックします。



3. 表示されたポップアップウィンドウの追加ボタンをクリックして FastMark をインストールします



3.2 個人用サイトが作成される設定になっていることを確認します

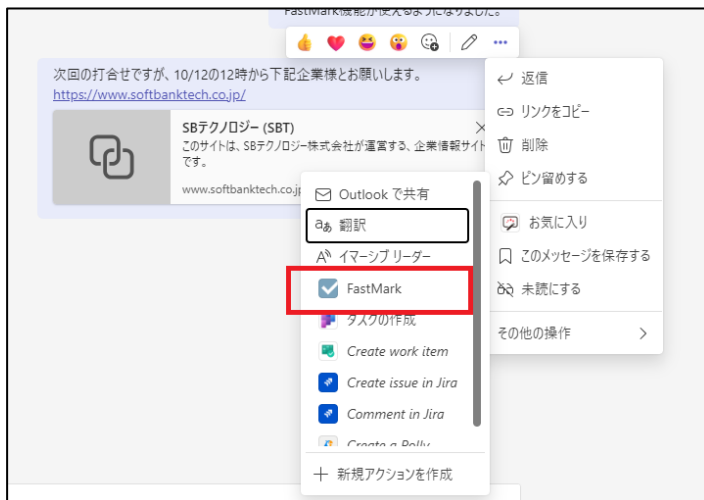
「1.3 サービス制限事項」に則って個人用サイト（OneDrive）が利用できるようになっている必要があります。

3.3 メッセージ拡張機能から FastMark を使ってメッセージを記録します

1. FastMark として記録したいチャットの内容にマウスカーソルを合わせると、右上に三点リーダーメニューが表示されます。



2. 三点リーダーメニューから FastMark を選択します。



3. 任意の項目に対して選択、入力し、送信ボタンをクリックします。各項目については空欄でも構いません。



☒ FastMark

タイトル
未入力の場合は記事のタイトルが保存されます。記事のタイトルがない場合は「[投稿ユーザー名] からのチャット」と保存されます。

カテゴリ
オプションを選択

ステータス
オプションを選択

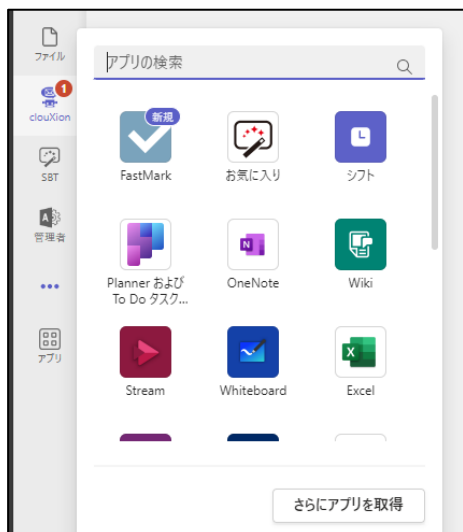
期限
日付を選択...

備考

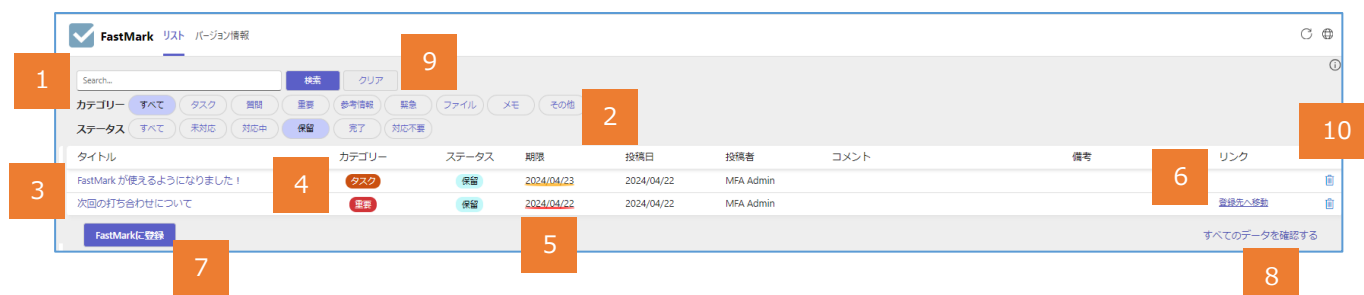
送信

3.4 保存したリストの閲覧

1. Teams アプリのサイドバーから「FastMark」を開きます。



2. FastMark として登録した記事やチャットの内容が確認できます。



No	項目	説明
1	検索ボックスと検索ボタン	検索ボックスに任意の文字列を入力して検索ボタンを押すことで、タイトル、コメント、備考列からその文字列が含まれているアイテムを絞り込むことができます。 スペースで区切って複数ワード検索することも可能です。
2	カテゴリ、ステータス	項目を選択することで、該当するアイテムを絞り込むことができます。 複数の項目を選択することも可能です。
3	ヘッダー	各項目をクリックすることで昇順または降順でソートすることができます。
4	アイテム一覧	FastMark 登録したアイテムの一覧です。アイテムのタイトルをクリック、もしくは行をダブルクリックすることで、アイテムの詳細パネルが開いて、アイテムの詳細確認と編集を行うことができます。アイテムの「カテゴリ」、「ステータス」、「期限」に限り、一覧上からでも編集を行うことができます。編集について詳しくは「3.5 FastMark からアイテムを編集・登録する」を参照してください。
5	期限	期限日が当日または過ぎている場合には赤色、1 週間前の場合には黄色で強調表示されます。ステータスが完了のアイテムについては期限日に関わらず、強調表示されません。

6	登録先へ移動	<p>クリックすることで FastMark 登録したチャットもしくは、ユーザーが任意に登録した URL に遷移します。</p> <p>チャットに遷移する際には一度ブラウザに遷移してから Teams アプリのチャット画面が開きます。</p>
7	FastMark に登録	<p>クリックすることでパネルが開き、新規にアイテムを登録することが出来ます。</p> <p>詳しくは「3.5 FastMark からアイテムを編集・登録する」を参照してください。</p>
8	全てのデータを確認する	<p>Microsoft Lists アプリに遷移し、全てのアイテムの確認、操作が出来ます。</p> <p>ただし、列の設定を削除した場合には、FastMark の登録と編集が出来なくなってしまうことにご注意ください。</p>
9	クリア	<p>検索、カテゴリー、ステータスのフィルタ結果とソート結果がクリアされ、初期表示の状態になります。</p>
10	削除	<p>ごみ箱のアイコンをクリックすると該当行の登録した情報を削除することが出来ます。</p> <p>詳しくは「3.6 FastMark からアイテムを削除する FastMark からアイテムを削除する」を参照してください。</p>

3.5 FastMark からアイテムを編集・登録する

1. アイテムのタイトルをクリック、もしくは行をダブルクリックすることでアイテムの詳細パネルが開き、アイテム詳細の確認と編集をすることが出来ます。

No	項目	説明
1	保存	No.3 以降で編集した項目をアイテム一覧に反映させ、詳細パネルを閉じます。
2	登録先へ移動	クリックすることで FastMark 登録したチャットもしくは、ユーザーが任意に登録した URL に遷移します。 チャットに遷移する際には一度ブラウザに遷移してから Teams アプリのチャット画面が開きます。
3	閉じる	クリックすることで、詳細パネルを閉じます。 ここから閉じた場合、編集中の内容はアイテム一覧に反映されません。
4	タイトル	テキスト形式で編集することが出来ます。
5	カテゴリ、ステータス	ドロップダウンで選択することで変更することが出来ます。
6	期限、投稿日	カレンダーから日付を選択することで変更が出来ます。期限については期限日が当日または過ぎている場合には赤色、1 週間前の場合には黄色で強調表示されます。 ステータスが完了のアイテムについては期限日に関わらず、強調表示されません。 選択した期限日をもとにリマインド通知が行われます。 リマインド通知についての詳細は「3.8 リマインド通知」を参照ください。
7	投稿者	編集できません。Teams の FastMark 登録機能から登録した場合には、そのチャットの投稿者、FastMark からアイテムを追加場合にはそのタブアプリを開いているユーザーが投稿者となります。
8	コメント、備考	テキスト形式で編集することが出来ます。書式付きで編集することも可能ですが、正しく表示されない可能性があることにご注意ください。

		<p>メッセージ拡張機能または OnePortal Modern のタブ形式 Web パーツからハイパーリンクを含むテキストがコメントに登録される際、FastMark から閲覧できる URL には以下の制約があります。</p> <p>■外部リンク：全て閲覧することが出来ます。</p> <p>■Sharepoint 内部リンク：以下のドキュメントへのリンクに限り閲覧することが出来ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォルダ ・Word ファイル ・Excel ファイル ・PowerPoint ファイル ・PDF ファイル ・テキストファイル ・画像ファイル ・動画ファイル
9	リンク	<p>テキスト形式で編集することが出来ます。リンクはチャットへの URL ではない任意の URL に設定することが可能です。</p>

- 画面左下の「FastMark 登録」ボタンをクリックすることで、クリックすることでパネルが開き、新規にアイテムに登録することが出来ます。登録画面の操作方法については編集と同様です。

The screenshot shows the 'FastMark' registration interface. On the left, there's a sidebar with a search bar and filters for 'Category' (all, task, question, etc.) and 'Status' (all, not responded, responding, etc.). A 'FastMarkに登録' button is at the bottom of the sidebar. The main area has a '保存' (Save) button at the top right. Below it, there's a 'タイトル' (Title) field with a placeholder 'タイトルを入力してください'. Then, there are dropdowns for 'カテゴリ' (Category) and 'ステータス' (Status). Below these are fields for '期限' (Expiry) with a date picker, '投稿日' (Registration Date) with a date '2023/10/10', 'コメント' (Comment), '備考' (Remarks), and 'リンク' (Link). The 'リンク' field has a placeholder 'リンクを入力してください'.

3. アイテムの「カテゴリー」、「ステータス」、「期限」に限り、一覧上で編集することが出来ます。編集したい項目にマウスカーソルを合わせるとアイコンが表示されます。



4. アイコンをクリックすることで編集することが出来ます。「カテゴリー」、「期限」は消しゴムアイコンをクリックすることで値をクリアすることが出来ます。



3.6 FastMark からアイテムを削除する

1. ごみ箱のアイコンをクリックすると確認ダイアログが表示されます。



2. 確認ダイアログで OK をクリックすると FastMark アイテムが削除されます。

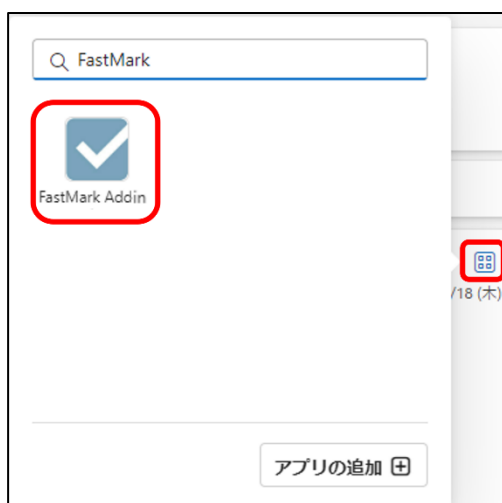
3.7 Outlook のメールを FastMark 登録する

1. デスクトップアプリ版では、登録したいメールを選択して、画面上部のリボンから「FastMark」をクリックします。
Web アプリ版では、登録したいメールを選択して、「FastMark」をクリックします。表示されていない場合はアプリから「FastMark」をクリックします。それでも表示されない場合は、ブラウザのキャッシュを削除いただくと表示される可能性があります。

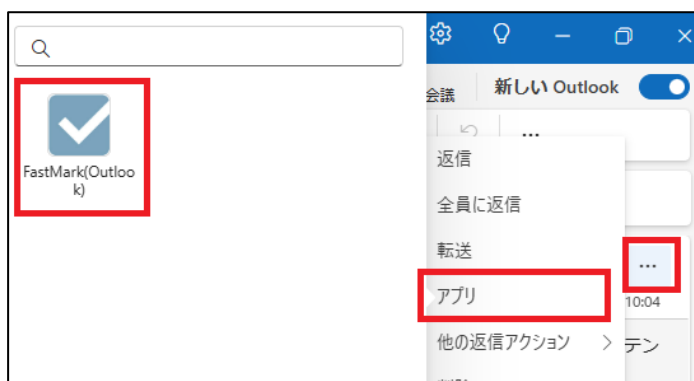
デスクトップアプリ版



Web アプリ版



新しい Outlook



2. FastMark 登録画面が表示されます。必要な情報を入力して「FastMark 登録」をクリックすることで登録されます。

The image shows a web form titled "FastMark Addin" with a close button (X) and a tab indicator "2". The form contains several fields, each highlighted with a blue bar and a numbered orange callout:

- 1** points to a "登録" (Register) button with a checkmark icon.
- 3** points to the "タイトル" (Title) text input field, which contains the text "【重要】会議の日程について".
- 4** points to the "カテゴリ" (Category) dropdown menu, which is currently set to a default value.
- 5** points to the "期限" (Deadline) date picker, which shows "2024/01/19".
- 6** points to the "備考" (Remarks) text area, which contains the text "メール送信者 : xxx@xxx.xxx.com".

Below the "備考" field, there are formatting icons for bold (B), italic (I), and text color (A), along with a small downward arrow.

No	項目	説明
1	登録	クリックすることで入力した情報で FastMark 登録できます。
2	閉じる	クリックすることで登録パネルを閉じます。
3	タイトル	テキスト形式で編集することが出来ます。
4	カテゴリ	ドロップダウンで選択することで変更することが出来ます。 選択した期限日をもとにリマインド通知が行われます。 リマインド通知についての詳細は「3.8 リマインド通知」を参照ください。
5	期限	カレンダーから日付を選択することで変更が出来ます。
6	備考	テキスト形式で編集することが出来ます。書式付きで編集することも可能ですが、正しく表示されない可能性があることにご注意ください。

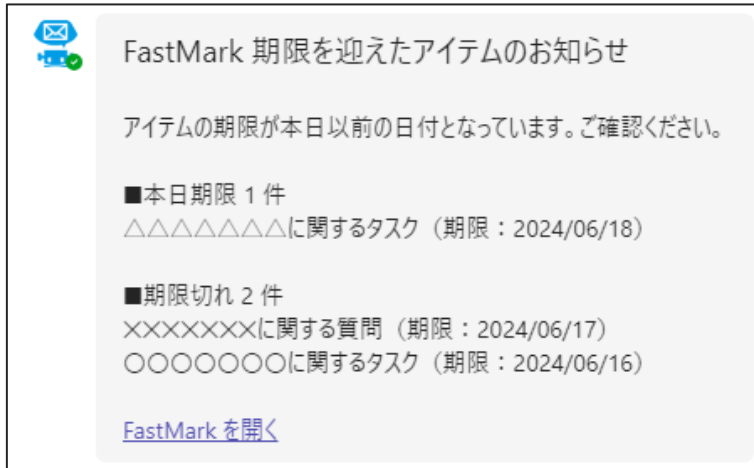
3.8 リマインド通知

3.8.1 リマインド通知とは

リマインド通知機能は、FastMark アイテムの期限が本日以前の日付、かつステータスが「未対応」、「対応中」のアイテムが存在する場合、そのアイテムの期限日または期限日が過ぎていることを Teams から日次で通知する機能です。

※モバイル端末の場合、リマインド通知の「FastMark を開く」のリンクが動作しない仕様となっています。

そのため、モバイル端末で確認する場合は直接「FastMark」を開いてご確認くださいようお願いします。



3.8.2 リマインド通知を受け取る設定

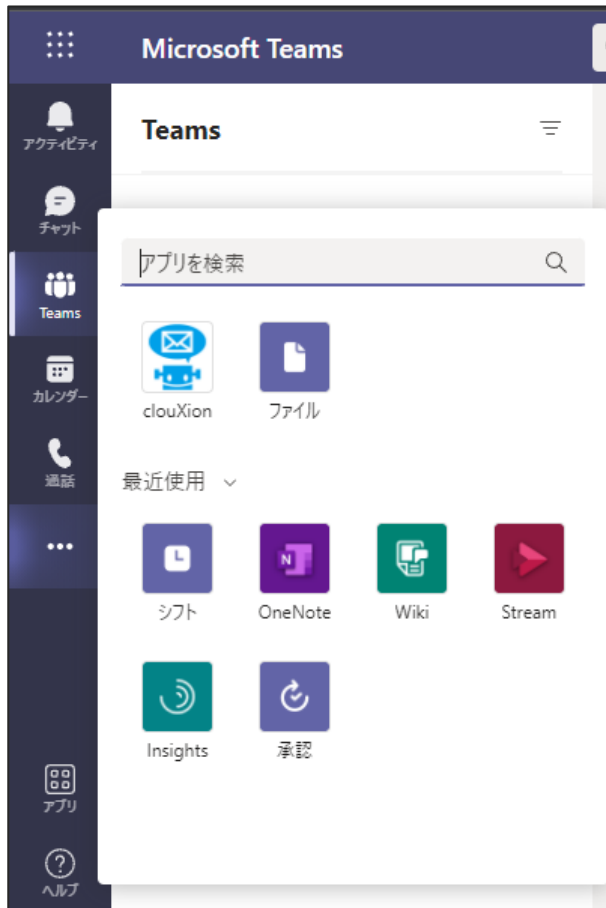
3.8.2.1 Teams に追加されたアプリからの設定手順

この手順を未実施のユーザーには Teams からのリマインドが通知されず、ChatBot との会話を促すメールが送信されます。

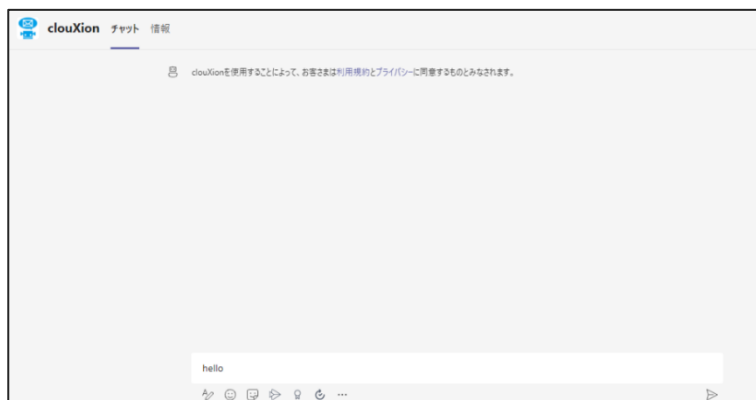
通知機能を利用開始する場合は、Teams に追加されたアプリから ChatBot との会話をユーザーに事前に実施していただくことを推奨します。

Teams に追加されたアプリから ChatBot との会話を行うには以下の手順の内容を実施してください。

1. Teams の左側のナビゲーションメニューから「…」をクリックし、「clouXion」を選択します。



2. ChatBot に任意のテキストを入力します。



3. ChatBot からの返事で「Sign In」ボタンをクリックします。



4. サインイン処理を実行します。しばらくお待ちください。

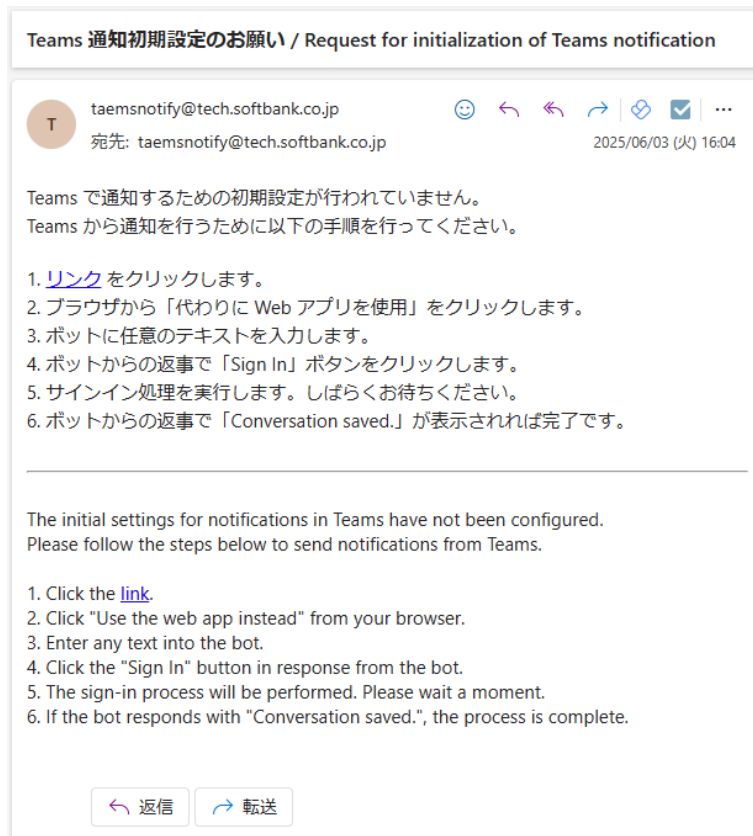
5. ChatBot からの返事で「Conversation saved.」が表示されれば完了です。



3.8.2.1 リマインド通知の対象ユーザーが、ChatBot との会話が未実施の場合に受け取るメールからの設定

ChatBot との会話が未実施の場合 Teams で通知を有効にする手順がメールにて送信されますので、以下の手順の内容を実施してください。

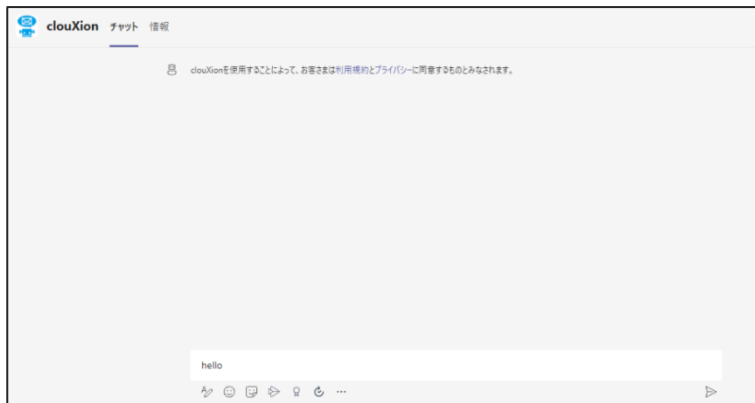
1. メールに設定されている「リンク」をクリックします。



2. ブラウザから「代わりに Web アプリを使用」をクリックします。



3. ChatBot に任意のテキストを入力します。



4. ChatBot からの返事で「Sign In」ボタンをクリックします。



5. サインイン処理を実行します。しばらくお待ちください。

6. ChatBot からの返事で「Conversation saved.」が表示されれば完了です。



4. アプリの削除

本手順は FastMark を利用しなくなった場合にのみ実施してください。

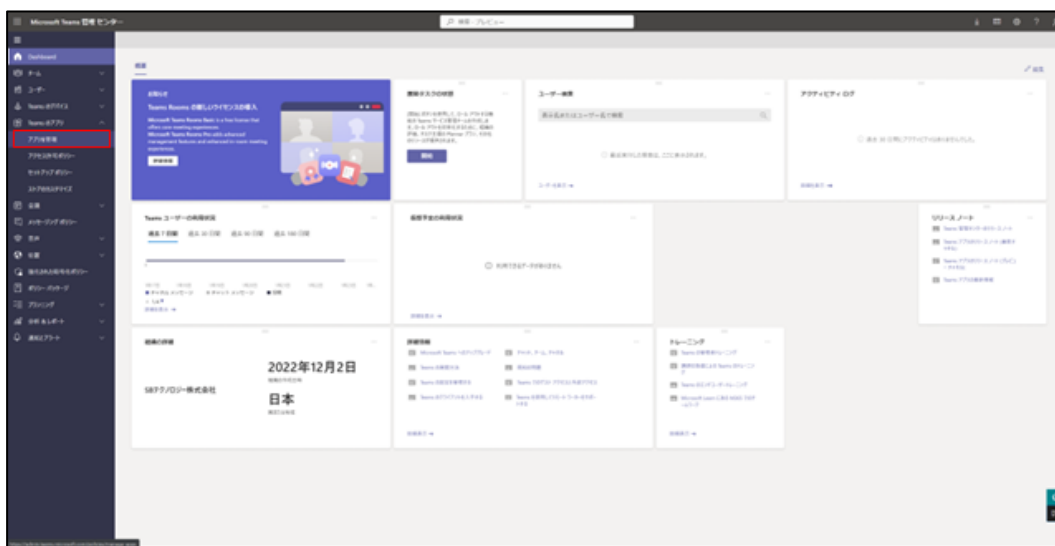
以下にアプリの削除手順を記載します。

4.1 FastMark アプリの削除

1. Microsoft 365 管理センターにアクセスします。
<https://admin.microsoft.com/adminportal/>
2. サインイン画面が表示されるので、Office365 の管理者アカウントでサインインします。
3. 左メニュー「…すべてを表示」を選択し、表示されたメニュー内の「Teams」を開きます。

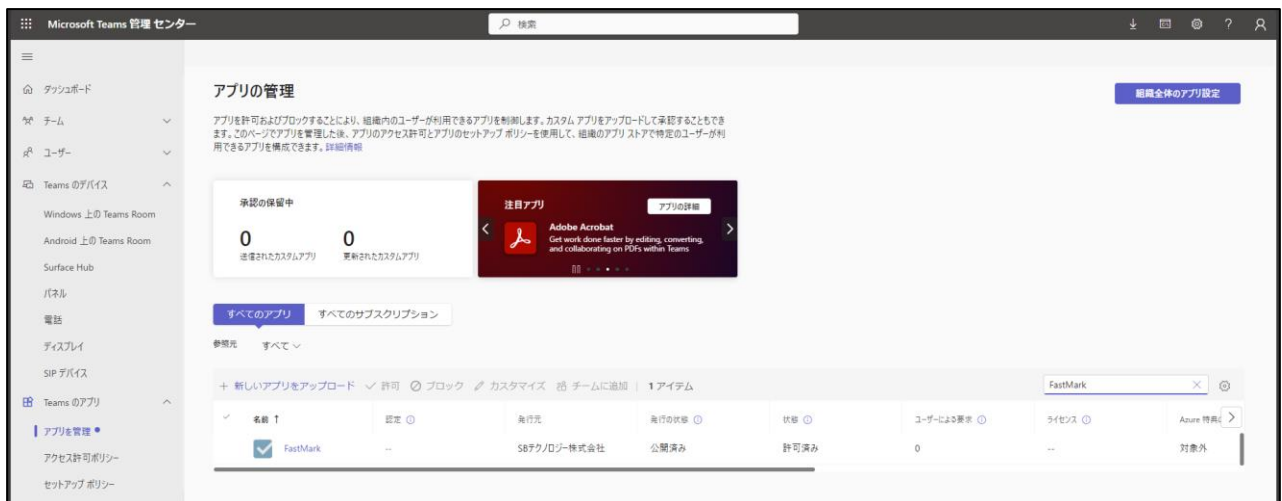


4. 左メニューの「Teams のアプリ」を選択し、「アプリを管理」を選択します。



5. アプリの一覧の上部の検索ボックスに「FastMark」と入力して、FastMark アプリを探します。

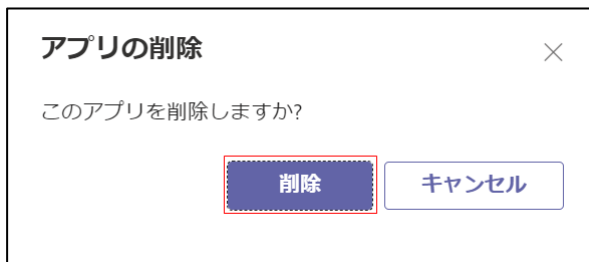
6. 表示された「FastMark」アプリをクリックします。



7. 「FastMark」アプリの右側の三点リーダー > アクション > 削除をクリックします。



8. ポップアップウィンドウが表示されるので削除ボタンをクリックします。

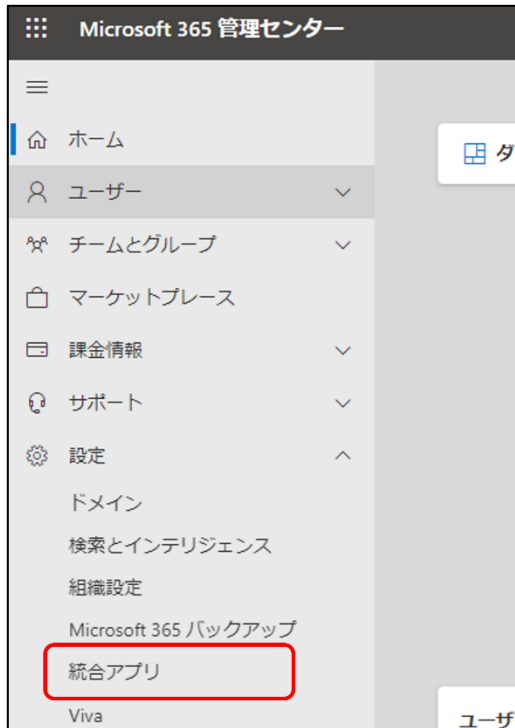


9. アプリが削除されたことを確認します。



4.2 Outlook で FastMark 利用可能なアドインの削除

1. Microsoft 365 管理センターにアクセスします。
<https://admin.microsoft.com/adminportal/>
2. サインイン画面が表示されるので、グローバル管理者または Exchange 管理者アカウントでサインインします。
3. 左メニュー「設定」を選択し、表示されたメニュー内の「統合アプリ」を開きます。



4. アプリの一覧の上部の検索ボックスに「FastMark」と入力して、FastMark アプリを探します。
5. 表示された「FastMark」アプリをクリックします。



6. 「アプリを削除する」をクリックします。



7. 確認画面が表示されるので、内容を確認してチェックマーク入れて削除ボタンをクリックします。



8. アプリが削除されたことを確認します。

※削除が反映されるまで、最大 6 時間かかる場合がございます。ご承知おきください。

5. Appendix

5.1 お問い合わせ

本マニュアルに記載している内容についてのお問い合わせは、「【OnePortal Modern】管理者マニュアル.docx」の「9. お問い合わせ」をご参照ください。

5.2 変更履歴

版	日付	内容
1.0	2023/10/19	✓ 新規作成
1.02	2024/01/16	✓ コメントに登録されるハイパーリンクに関する制約を追加
1.03	2024/02/13	✓ Outlook のメールを FastMark 登録できる機能を追加
1.04	2024/04/09	✓ 「2.6 FastMark アプリの更新」を追記
1.05	2024/05/07	✓ FastMark リストからアイテムを削除できる機能を追加 ✓ 一覧上から項目を編集する機能を追加
1.06	2024/07/11	✓ リマインド通知機能を追加 ✓ 「1.3 サービス制限事項」に FastMark が利用可能なデスクトップアプリ版 Outlook の制限事項を追加
1.07	2024/09/24	✓ 新しい Outlook から FastMark を利用する際の注意事項を追加
1.08	2024/10/24	✓ 「1.3 サービス制限事項」にプライベートチャネルの投稿を FastMark 登録できない旨を追記
1.09	2025/05/20	✓ アプリ中心の管理への移行が完了している場合の説明を記載 ✓ 「1.3 サービス制限事項」に個人用サイトのタイムゾーンに関する注意事項を追記 ✓ モバイルでのリマインド通知のリンクに関する注意事項を追記
1.10	2025/07/01	✓ ChatBot との会話が未実施の場合に受け取るメールを日英併記に変更